

第2回伊東市新図書館基本構想策定委員会

コンセプト、サービス内容、蔵書目標、施設整備の目標面積構成について

## 目次

コンセプト、サービス内容、蔵書目標、施設整備の目標面積構成について .....	1
1 これまでのご意見と拡充が必要なサービス内容の検討 .....	1
1-1 これまでのご意見 .....	1
1-2 拡充サービス案.....	8
2 伊東市新図書館コンセプト（案） .....	15
3 蔵書目標の設定（案） .....	16
3-1 目標蔵書冊数の設定.....	16
3-2 児童書割合の設定 .....	16
3-3 閉架の割合の設定 .....	16
4 施設整備の目標面積構成（案） .....	17
4-1 目標面積構成の考え方 .....	17
4-2 パターンごとの検討.....	18

# コンセプト、サービス内容、蔵書目標、施設整備の目標面積構成について

## 1 これまでのご意見と拡充が必要なサービス内容の検討

### 1-1 これまでのご意見

#### (1) 第1回策定委員会

第1回策定委員会では、伊東図書館及び生涯学習センター中央会館（以下、現図書館等という。）の利用状況等現状の整理を行い、現図書館等の課題を抽出しました（資料5）。

その他、委員からは次のような意見が出されました。

- ・津波浸水想定地域、洪水浸水想定地域のため、防災と利用のしやすさを兼ねた設計の検討をすべき
- ・伊東市ゆかりの人物、文化資産を内外に発信する場となるべき（文化財管理センターとの住み分けも検討）
- ・子どもたちが伊東市を知るきっかけになる、伊東市の自然・文化等を次世代に引き継ぐ郷土教育の場となるべき
- ・観光地にある図書館として住民だけでなく、関係人口へのアプローチも必要
- ・託児サービスの設置など保護者へも配慮し、子どもや子育て世代が過ごしやすく、読書習慣を育むことができる図書館となるべき
- ・サテライト図書館等、伊東市全域の図書館サービスも併せて検討すべき（特に伊豆高原駅周辺等）
- ・小学生など伊東の将来を担う子どもの意見も構想に反映すべき

#### (2) 新図書館基本構想策定に向けた市民ワークショップ（第1回）における意見

8月30日（日）に第1回伊東の「未来を拓く」新しい図書館をつくろう市民ワークショップを開催しました。

##### 新図書館基本構想策定に向けた市民ワークショップ（第1回） 開催概要

日時：8月30日（日）13：30～16：00

参加者：35名（一般19名、高校生6名、中学生10名）

※一般は、市内在住・在勤・在学の方（高校生以上）を公募

高校生、中学生は学校推薦

ディスカッションテーマ：

- ① 現図書館のよいところ、改善点を考える
- ② 新しく図書館に望むことを考える



図 1-1 ワークショップの様子

ワークショップでは、「現図書館のよいところ、改善点を考える」、「新しい図書館に望むことを考える」というテーマでグループディスカッションを行いました。

現図書館の「よいところ」としては、読み聞かせやぬいぐるみおとまり会など、児童サービスが充実していること、伊東市に関する郷土資料が充実していることなどが上げられました。

「改善が必要なところ」としては、駐車場の使いにくさやバリアフリーへの対応など、施設面での意見が多く、電子図書館やセルフ貸出機などの ICT 関連や情報発信の未整備、市内全域への図書館サービスの提供が不十分といった意見も見られ、そのほか中高生全般に対してのサービス・設備の不足や、若年層からは「静かにしていないといけない雰囲気がある」などの意見が寄せられました。

また、「新しい図書館に望むことを考える」では、地域資料、漫画、視聴覚資料など各種資料の充実を望む意見のほか、ICT 関連の充実など設備に関する意見が上がりました。施設面では、遊具なども含めた子どもが遊べるスペース、中高生のための勉強スペースなど、世代に合わせた諸室をはじめ、くつろいだり自由に過ごせたりする様々な閲覧環境を望む声や、カフェをはじめとした併設施設について様々なアイデアが寄せられたほか、伊東市ゆかりの人物に関するコーナーや観光にまつわるコーナーなど、伊東市の魅力を発信するサービスに関する意見が述べられました。

### (3) 小学生の意見

#### 大池小学校総合学習

伊東市立大池小学校の4年生59人は、平成30年10月より3ヵ月間、総合学習授業の一環として、「誰もが使える図書館」をテーマとし、班ごとに地下1階から地上4階までフロアごとに描いたイメージ図とともに、理想の図書館の考えをまとめ、発表会を行いました。

その後、発表会での投票で選ばれた2案は「市長への手紙」として市長のもとへ提出されました。代表として選ばれたのは、①図書館をつまらないと思う子どもや、疲れた大人、外国人、障がい者など、「だれでも安心してすごせる未来の図書館」と、②犬や猫などとともにすごせる「ゆめと生き物安心図書館」の2案です。

「だれでも安心してすごせる未来の図書館」では、お菓子を食べたり、リラックスしながら過ごせる子ども専用ルームやプール、足湯などのほか、託児所や外国語と日本語で本を読んでもくれるバイリンガルペッパーくん、疲れた大人を癒してくれるマッサージチェア付きルーム、取り放題の果物の木など、幅広い層に向けたユニークなアイデアが多く上げられました。

「ゆめと生き物安心図書館」は、障がい者の負担を軽減するため、1階と2階には書架を配置し、本が自動で元の位置に返却される“自動ポスト”を設置、3階と4階には犬や猫と触れ合える部屋やプラネタリウム、ブランコ、トランポリンなどが置かれた屋上遊園などのアイデアが上げられました。

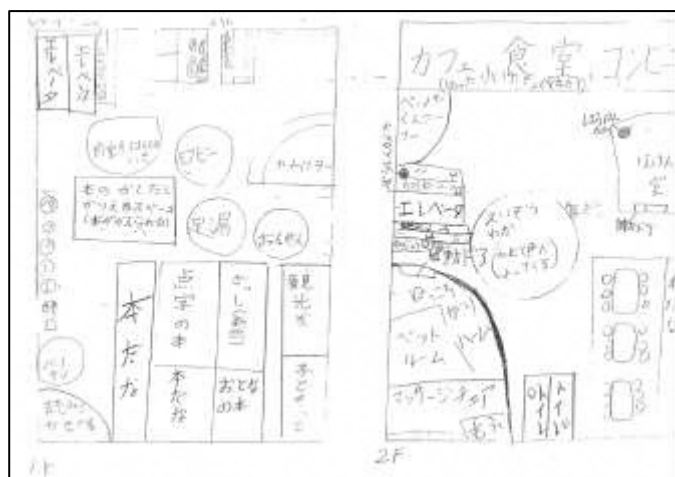


図 1-2 「だれでも安心してすごせる未来の図書館」の案

## 小学生ふるさと教室

9月19日（土）に、小学生ふるさと教室の特別講座として、伊東の「未来を拓く」新しい図書館をつくろう小学生ワークショップを開催し、新図書館建設に向けたご意見をいただきました（別紙参照）。

### (4) その他これまでの意見と、拡充が必要なサービス内容

(1)～(3)に加え、これまで開催された「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」、「地域タウンミーティング」、「未来ビジョン会議」における意見を踏まえ、それらを解消、実現するため、伊東市新図書館（以下、新図書館という）で拡充が必要な機能について、次の7つへと分類し、整理します。

- ① 交流機能                               : カフェなどくつろぎながら多世代が交流できる機能
- ② 一般コーナー機能                   : 幅広く大人向けの図書を集めたいわゆる図書館の核となる機能
- ③ 伊東市情報センター機能           : 郷土資料や観光情報、地域の特色が分かる伊東ならではの資料を集めた機能
- ④ 児童コーナー機能                   : 数多くの児童書や絵本を集め、子どもたちやその親が楽しく過ごせる機能
- ⑤ ティーンズコーナー機能           : 中高生が来たくなるようなスペースや資料を集めた機能
- ⑥ 生涯学習センター機能           : これまでの生涯学習センター機能に加え、様々な活動を行える機能
- ⑦ ICT機能                               : IC タグシステムや電子図書館、最新の ICT を活用した情報発信などの機能

➤ 第1回策定委員会で整理された課題

項目	内容	拡充が必要なサービスまたは諸室	7つの機能への対応
資料	利用の少ない、中高生を対象とした蔵書の収集拡充を検討する必要があります。	ティーンエイジスペース	⑤ティーンズコーナー機能
	木下空太郎関連書籍、温泉にまつわる書籍等、現在おさめられているものの他、伊東市の文化・歴史に関する書籍を収集しています。今後は伊東市の文化・歴史・観光等さらに内容を深めた特色ある蔵書とサービスの拡充とデジタル技術なども利用し、多くの方々に活用される方策の検討が望まれます。	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	伊東市の昔話、伊東の民話集など地域に伝わる伝承についての独自資料（手作りのものも含む）も多数そろえられており、これらは地域における知や文化を収集する図書館の本来の意義から考えても非常に価値のあるものであるため、このような資料の拡充あるいは利活用（下記、ICTも活用した）が望まれます。	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能 ④児童コーナー機能 ⑦ICT機能
サービス	利用の少ない中高生に魅力を感じてもらえる事業の検討が望まれます。	グループ学習室、ファブスペース、ティーンエイジスペース、音楽スタジオ等	⑤ティーンズコーナー機能 ⑥生涯学習センター機能
	伊東市の歴史、文化などの魅力発信について、更なる拡充を図るサービスの検討が望まれます。（文化財管理センターとの住み分けも検討）	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	子どもたちが伊東市を知るきっかけになる、伊東市の自然・文化等を次世代に引き継ぐ郷土教育の場	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、児童スペース	③伊東市情報センター機能 ④児童コーナー機能
	映画会や大規模イベント等の事業開催の拡充と、そのためのスペースの確保が必要と考えます。	小規模ホール	①交流機能 ⑥生涯学習センター機能
	これまで図書館に訪れなかった方々の来館を促すために交流スペース（カフェ等）等の設置を検討する必要があります。	カフェやショップなど	①交流機能
	予約の半数以上がWEB上からの申し込みであることから、ICTを活用したさらなる利便性向上策の検討が必要であると考えられます。	IC機器の導入	⑦ICT機能
	伊東市総合計画『健康保養都市』を支援するサービスも検討する必要があります。	医療健康情報コーナーなど	②一般コーナー機能 ③伊東市情報センター機能
	生涯学習センターで行われている講座等の拡充	諸室の拡充等	⑥生涯学習センター機能
	生涯学習センターと図書館の連携による相乗効果のある事業展開	生涯学習センターと図書館機能の融合	⑥生涯学習センター機能 ⑦ICT機能
	託児サービスなど、子どもと保護者が過ごしやすく、読書習慣を育むことができる図書館	託児サービス、児童スペース	④児童コーナー機能
ICT	生涯学習センター機能との融合化や回遊性を考えた場合、ICタグシステムの導入による資料管理が大きな効果を発揮すると考えられ、導入の検討が望まれます。	生涯学習センターと図書館機能の融合 IC機器の導入	⑥生涯学習センター機能 ⑦ICT機能
	その他、デジタルアーカイブ導入による貴重資料の公開や観光情報の発信、ファブスペースの設置等々が検討されます。	デジタルアーカイブ、ファブスペース	③伊東市情報センター機能 ⑦ICT機能
施設・設備	現状の施設は入口が暗いうえ、分かりづらく、また生涯学習センターの入口とも別れているため、お互いの利用者が分かれてしまいます。開かれた入りやすく、かつ、様々な方が訪れやすい施設とすることが望まれます。	交流スペース、生涯学習センターと図書館機能の融合	全般 ①交流機能 ⑥生涯学習センター機能
	閲覧室には25席+αの学習席がありますが、曜日時間帯によっては学生たちで満席となります。このような利用も踏まえた学習席の拡充が望まれます。	学習室の拡充、グループ学習室	②一般コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能等
	生涯学習センターと融合し、回遊性が実現される施設であることが望まれます。	生涯学習センターと図書館機能の融合 IC機器の導入	⑥生涯学習センター機能 ⑦ICT機能
	エントランス部分などに、人々が憩い、集まるためのラウンジ機能のあるスペースが望まれます。	交流スペース	①交流機能
	津波浸水想定地域、洪水浸水想定地域のため、防災と利用のしやすさを兼ねた設計が望まれます。	災害対応に即した設計	全般
その他	サテライト図書館等、伊東市全域の図書館サービスも併せて検討することが望まれます。	サテライト図書館、移動図書館	全般
	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、現図書館等でも一部サービスの制限を行ったことから、滞りなく市民へ図書館サービスを提供し続けるため、電子書籍の貸出やデジタルアーカイブといった非来館型のサービスを導入・提供し、来館・非来館のどちらでサービスを受けるか利用者が選択できるようにすることが望まれます。	デジタルアーカイブ、電子図書館	⑦ICT機能

▶ 新図書館基本構想策定に向けた市民ワークショップ（第1回）における意見（抜粋）

<現図書館のよいところ、改善が必要なところ> よいところ=●、改善が必要なところ=▲

大項目	小項目	参加者から挙げられた意見（抜粋）	拡充が必要なサービスまたは諸室	7つの機能への対応
資料	郷土	●伊東の歴史が分かる資料がまとめてあり、地元愛が感じられる	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能
		●郷土資料が沢山ある	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能
		▲郷土資料が一部しか置いていない	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能
		▲ジオパーク資料が少ない	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能
	児童	●絵本がある	キッズスペース	④児童コーナー機能
		●民話紙芝居を所蔵している	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能 ④児童コーナー機能等
	配架方法	▲必要な本を探しにくい、場所が分かりづらい	分かりやすい配架計画	②一般コーナー機能等
		▲棚に詰め込みすぎて取りにくい	分かりやすい配架計画	②一般コーナー機能等
	展示	●子ども向けの特別展がある	キッズスペース、展示コーナー	④児童コーナー機能 ②一般コーナー機能
		●小規模な展示（古い絵本展）が面白かった	展示コーナー	④児童コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
		▲植物や魚を学べる展示を設けてほしい	参考資料コーナー	②一般コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
	サービス	児童	●移動図書館「ともだち号」がある	サテライト図書館、移動図書館
●小さい子どもに親しまれており、利用しやすい			キッズスペース	④児童コーナー機能
▲児童図書館の認知度が低い			キッズスペース、情報発信機能	④児童コーナー機能
▲ゲーム等体験できるものを置いてほしい			児童コーナー、ティーンズコーナー	④児童コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能等
中高生		▲青年層の利用が少ない	ティーンズコーナー、情報発信機能	⑤ティーンズコーナー機能
		▲若者利用増加サービスが必要	ティーンズコーナー、情報発信機能	⑤ティーンズコーナー機能
情報発信		▲伊東の魅力を発信してほしい	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能 ⑦ICT機能等
		▲図書館でどんな活動をしているのかわからない	情報発信機能の拡大	⑦ICT機能等
		▲何の行事をやっているのかわかりにくいので、参加機会が得にくい	情報発信機能の拡大	⑦ICT機能等
		▲知らないサービスがあった	情報発信機能の拡大	⑦ICT機能等
行事・イベント	全般	●年に数回市民向けの講座をやっている	生涯学習センターと図書館機能の融合、各種事業の拡大	②一般コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
		●図書館主催で勉強会が開催されている	生涯学習センターと図書館機能の融合、各種事業の拡大	②一般コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
		▲イベントができる図書館だとよい	生涯学習センターと図書館機能の融合	②一般コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
	児童	●子ども向けのイベントがある	児童コーナー、キッズスペース	④児童コーナー機能
		●出張読み聞かせを含む読み聞かせイベントがちゃんと開催されている	児童コーナー、キッズスペース	④児童コーナー機能
		●ぬいぐるみお泊まりイベントがある	児童コーナー、キッズスペース	④児童コーナー機能
	中高生	▲中高生向けのイベントが少ない	各種事業の拡大	⑤ティーンズコーナー機能
ICT	ICT	●図書検索システムを使うことで本を探しやすい	検索機の増設	②一般コーナー機能等
		▲電子書籍の導入をしてほしい	電子図書館の導入	⑦ICT機能等
		▲無人図書館で貸出、返却が可能にできるようにしてほしい	電子図書館の導入	⑦ICT機能等
		▲置いてある本が分かるアプリを作ってほしい	アプリの開発	⑦ICT機能等
		▲図書検索システムが2台しか無いので、検索用のパソコンを増やす	検索機の増設	②一般コーナー機能等
		▲自動貸出返却を置いてほしい	自動貸出機、自動返却機の導入	⑦ICT機能等
		▲Wi-Fiが使用できない	Wi-Fiの導入	⑦ICT機能等
		施設・設備	全般	●展示コーナーがある
●静かで集中ができる	静と動の空間のゾーニング			②一般コーナー機能等
●机が多い	学習席等閲覧席			②一般コーナー機能等
▲会話できるスペースが無い	会話可能なスペース			①交流機能
▲教え合いスペースが無い	生涯学習センターと図書館機能の融合			①交流機能
▲コミュニケーションが取りづらい	交流機能、各種事業の拡大			①交流機能
▲飲食しながら勉強できるスペースが無い	飲食スペース			①交流機能
▲用途によって部屋を分けられていない（静か/ガヤガヤ）	静と動の空間のゾーニング			全般
▲本を読むスペースも含め、個々のスペースが狭い	閲覧席、自習席等の拡充			①交流機能 ②一般コーナー機能等
▲机が古くガタつく	使いやすい什器の選定			全般
▲座席の多様性が低い	多様な閲覧環境			②一般コーナー機能等
▲本棚が高いため取りづらく、空間的に狭く感じるので、本棚を低く見渡し良くしてほしい	低書架の採用			②一般コーナー機能等
▲静かすぎて入りづらい	静と動の空間のゾーニング			①交流機能等
▲全体的に暗い所が多い（勉強スペースや特に入口部分）	適切な照明計画等			①交流機能 ②一般コーナー機能等
▲くつろげない	くつろぎのスペース			①交流機能等
▲子どもたちがおしゃべりしていると注意されてしまう、大人もゆっくり本を読めるスペースが無い、など長時間過ごせる環境ではない	静と動の空間のゾーニング			④児童コーナー機能等
▲現代らしさがなく、楽しい施設ではない	魅力ある設計			全般
▲自販機や飲食スペースが無い	自動販売機、飲食スペース			①交流機能
▲監視カメラが無い	監視カメラの導入			⑦ICT機能等
郷土	●郷土資料室がある			地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）
	●昔話や地元の研究資料個室がある		地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
児童	●絵本等をその場で読むことができるスペースがある		キッズスペース	④児童コーナー機能
	▲子どもが声を出せない		キッズスペース、静と動の空間のゾーニング	④児童コーナー機能
中高生	▲自習スペースが少ない		学習席、自習室	②一般コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能等
	▲学習しやすい環境では無い		学習席、自習室	②一般コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能等
バリアフリー	▲バリアフリーを充実させる		バリアフリーへの対応	全般
	▲ハンディキャップの利用者の使いやすさを追求するべき		バリアフリーへの対応	全般
駐車場	▲駐車場が少なく、狭いので駐車しづらい	駐車場	全般	
災害対応	▲地震・津波対策に備えるようにする	災害対応に即した設計	全般	
	▲災害時にも利用できるようにする	災害対応に即した設計	全般	
立地等	▲本館を利用できない住民のために分館を作る必要がある	サテライト図書館、移動図書館	全般	
	▲伊豆高原の駅にサテライト図書館をつくってほしい	サテライト図書館、移動図書館	全般	
併設施設	併設施設	▲有機野菜を使ったメニューなど、カフェがほしい	カフェ	①交流機能



<新しく図書館に望むこと>

大項目	小項目	参加者から挙げられた意見（抜粋）	拡充が必要なサービスまたは諸室	7つの機能への対応	
資料	郷土	観光情報、歴史、伊東市にゆかりのある人など含めて幅広い地域資料が揃っていて、伊東に関することなら何でもわかる図書館	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能	
		郷土や関係する人達（木下圭太郎、太田園三）の紹介コーナーを置く	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能	
		伊東に関係する本の英語版を置く	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能	
		伊東が出てくる映画を全て用意する	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、視聴覚資料	③伊東市情報センター機能	
		伊豆の魚や植物を紹介したコーナーを設ける	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能	
	中高生	最新の雑誌や漫画やライトノベルを増やす	ティーンズコーナー、ティーンズ雑誌コーナー	⑤ティーンズコーナー機能	
		中高生の勉強にあった資料を置く	ティーンズコーナー	⑤ティーンズコーナー機能	
		漫画も借りれるようにする	ティーンズコーナー	⑤ティーンズコーナー機能	
		雑誌の種類（ジャンプ・アニメとか）を増やす	ティーンズコーナー、ティーンズ雑誌コーナー	⑤ティーンズコーナー機能	
	展示	展示できる場所を設ける	展示コーナー	①交流機能 ②一般コーナー機能等	
サービス	全般	宅配やBOXなど本を返却するサービスをする	拡張性のあるサービス	全般 ⑦ICT機能等	
		スマホと連携させる	アプリ等拡張サービス	⑦ICT機能等	
		東伊豆で県立図書館の次レベルの図書館にする	情報センター機能	全般 ③伊東市情報センター機能等	
		多様性に合ったサービスをする	バリアフリーへの対応等	全般	
		文化施設の拠点となるような図書館にする	伊東市情報センター機能	③伊東市情報センター機能等	
		子どもや高齢者が訪れやすい場所にする	児童コーナー、一般コーナー、各種事業の拡大	②一般コーナー機能 ④児童コーナー機能等	
		予約受取専用の本の無い図書館を作る	サテライト図書館	全般 ⑦ICT機能等	
	郷土	伊東の文化を発信する	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能 ⑦ICT機能等	
		観光客同士が交流（情報交換）できる	観光情報コーナー、情報発信	①交流機能 ③伊東市情報センター機能等	
		市内観光名所をジオラマで紹介する	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、情報発信機能	③伊東市情報センター機能等	
	情報発信	パンフレットで情報発信をする	情報発信機能	①交流機能 ⑦ICT機能等	
		若者はSNSで、高齢者は新聞で情報発信をする	情報発信機能	⑦ICT機能等	
	行事・イベント	全般	語りや昔話を聞くイベントを開催する	各種事業の拡大	②一般コーナー機能 ④児童コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
			リーディングイベントを開催する	各種事業の拡大	②一般コーナー機能 ④児童コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等
本好きが集まるコミュニティ（子どもから大人まで気軽に本が好きの人が集まれる場）を設ける			コミュニティ醸成に寄与する各種事業の拡大	①交流機能 ②一般コーナー機能等	
児童		子どもや中学生も含めたイベントを開催する	各種事業の拡大	④児童コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能	
ICT	ICT	電子書籍の導入・拡充をする	電子図書館、電子書籍	⑦ICT機能等	
		Wi-Fiが使用でき、タブレットの貸出ができる	Wi-Fiの導入	⑦ICT機能等	
		電子機器（タブレット）を増やし、使えるようにする	電子機器の導入	⑦ICT機能等	
		資料の電子化や郷土資料のデジタル化を図る	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）、デジタルアーカイブ	③伊東市情報センター機能 ⑦ICT機能等	
		調べものができるようにPCの設置をする	レファレンスコーナー、データベース用PC等	②一般コーナー機能 ③伊東市情報センター機能等	
		図書通帳の機械化をする	図書通帳の導入	⑦ICT機能等	
		自動貸出機、検索機を置く	自動貸出機、検索機	⑦ICT機能等	
		フリースペースを設置する	フリースペース	①交流機能等	
施設・設備	全般	持込のPCが使えるなど、テレワークに使えるスペースを作る	コワーキングスペース	②一般コーナー機能 ⑥生涯学習センター機能	
		グループ利用のできる個室スペースを作る	グループ学習室	①交流機能 ⑤ティーンズコーナー機能等	
		工作・調理など体験スペースを作る	工作室、調理室等	⑤ティーンズコーナー機能 ⑥生涯学習センター機能等	
		寝られたり、くつろげるスペース（マット、ソファ、じゅうたん）を作る	目的別に合わせた空間のゾーニング	全般	
		開放的＆閉鎖的空間で分ける	静と動の空間のゾーニング	全般	
		年齢区別と融合、目的に合ったゾーニングができてい場所にする	目的別に合わせた空間のゾーニング	全般	
		クッションを設置して寝ながらでも本を読めるようにする	目的別に合わせた空間のゾーニング	全般	
		出会いがあったり、偶然性のある場所にする	コミュニティ醸成に寄与する各種事業の拡大、フリースペース	①交流機能 ⑥生涯学習センター機能等	
		年配者と子どもの接点を作る	児童コーナー、一般コーナー、各種事業の拡大	①交流機能 ②一般コーナー機能 ④児童コーナー機能等	
		ユーザーウェルカム感を持たせる	各種事業の拡大	①交流機能等	
		イスの種類を増やす	目的別に合わせた空間のゾーニング	全般	
		低い本棚を置く	開放的な空間	全般	
		コンセントを用意する	閲覧席の多様化（電源席）	②一般コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能	
		屋上・庭園（テラス）・展望台がある	屋上スペースの活用	①交流機能等	
		児童	大声を出せたり、子どもたちが伸び伸び本と触れ合える場所にする	キッズスペース、静と動の空間のゾーニング	④児童コーナー機能
			小さい子の遊びまわられるスペースを作る	キッズスペース、静と動の空間のゾーニング	④児童コーナー機能
		中高生	自習室を作る	自習室	⑤ティーンズコーナー機能等
	ボードゲームができるスペースを作る		ティーンズコーナー、ゲームコーナー	⑤ティーンズコーナー機能等	
	勉強をするところを作る		自習室、学習室	⑤ティーンズコーナー機能等	
	バリアフリー	バリアフリーを有する	バリアフリーに配慮した施設計画	全般	
		表示や案内、英語で表記をしたりする	バリアフリーに配慮した施設計画	全般	
		様々な年代の方や障がい者への配慮をする	バリアフリーに配慮した施設計画	全般	
	駐車場	使いやすい駐車場にする	駐車場	全般	
	立地等	市内各所にお取り置き場所を設ける	サテライト図書館	全般	
		伊豆高原駅に分館を作る	サテライト図書館	全般	
	併設施設	併設施設	カフェ（ゴンチャ、スタバ、ネットカフェ、地元を紹介した日替わりカフェなど）を作る	カフェ	①交流機能等
			地域のを販売した雑貨店などのお店を入れる	ショップ	①交流機能等
温泉を利用したコミュニティスペースを作る			温泉	①交流機能等	
ジム、卓球台などを動かせるコーナーを作る			体育室等	①交流機能 ⑤ティーンズコーナー機能等	
子どもを預ける場を設ける			託児サービス	①交流機能 ④児童コーナー機能等	
ペット連れの利用客のために、ペット広場を作る			広場	①交流機能等	
書店・カフェ併設にして、休日も返却できるようにする			書店、ショップ	①交流機能等	



➤ 図書館・文化ホール建設に向けた検討会、地域タウンミーティング、未来ビジョン会議における意見（抜粋）

項目	内容	拡充が必要なサービスまたは諸室	7つの機能への対応
コンセプト	読書をしなくても誰もが行ってみたいと思う図書館	カフェやショップなど	①交流機能
	全世代が交流できる図書館	交流スペース	①交流機能
	自然・郷土の文化財・温泉	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	子育て充実な図書館	余裕のある児童コーナー	④児童コーナー機能
	生活向上や文化発展に結びつく、情報センターや学習の場にすべき	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	国際観光温泉文化都市にふさわしい図書館	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	花と海という湯のまち伊東がイメージできる図書館	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	伊東というまちの生い立ち、歴史が理解できる図書館	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
サービス	中学・高校・大学と進学しても使いやすいと思える機能を	グループ学習室、ファブスペース、ティーンエイジスペース、音楽スタジオ等	⑤ティーンズコーナー機能 ⑥生涯学習センター機能
	貸出等に係る電子化を	IC機器の導入	⑦ICT機能
施設設備	全体的にゆとりのある空間	ゆったりとした空間づくり	全般
	ミニシアターの併設	小規模ホール	⑥生涯学習センター機能
	広い学習室	学習室、グループ学習室	②一般コーナー機能 ⑤ティーンズコーナー機能
	電子図書館	電子図書館	⑦ICT機能
併設施設	ギャラリー	展示コーナー	①交流機能
	カフェなどの飲食スペース	カフェ	①交流機能
	託児コーナー	託児コーナー	④児童コーナー機能
	庭を設け、四季折々の花、花木が楽しめる	広場	①交流機能
	ジオ資料館、伊東にゆかりのある伊東祐親、三浦按針、文人墨客等について学べる施設	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	観光客が伊東を理解できる伊東学コーナー	地域資料・参考資料スペース、展示コーナー（郷土資料）	③伊東市情報センター機能
	シェアオフィス	ワーキングスペース、ファブスペース	⑥生涯学習センター機能

## 1-2 拡充サービス案

「1-1(4)その他これまでの意見と、拡充が必要なサービス内容」で分類した7つの機能について、各機能のイメージを以下に示します。

### (1) 交流機能（案）

多世代が集い・交流するエリアとし、誰もが入りやすい雰囲気、施設の顔となる場所です。公園のように気軽に施設を訪れることで、本や活動との偶然の出会いを誘発される、市民の共有ラウンジのようなスペースとします。

伊東市の特色を活用したカフェやショップ、新聞・雑誌などを読むくつろげる空間となるブラウジングスペース、そしてICタグシステムにより、予約資料をセルフで受け取ることができる予約本コーナーを配置します。

また、小規模ホールなども配し、様々なイベントを開催します。

総合案内として入口付近にサービスカウンターやデジタルサイネージを設置し、利用者や観光客への情報発信を行います。

広場も設置することで、屋外でもイベントなどを開催し、イベントの来場者が気軽に足を延ばして来館できるような施設として、日ごろ図書館を利用しない方々に対し、図書館サービスを利用するきっかけを提供します。



図 1-3 交流カフェ



図 1-4 伊東市グッズショップ



図 1-5 広場を使ったイベント



図 1-6 雑誌コーナー



図 1-7 ブラウジングスペース

## (2) 一般コーナー機能（案）

一般コーナーは、図書館本来の市民の知と情報の集積地として機能します。

多くの開架図書と、大人がゆっくりとくつろぎながら読書ができる閲覧スペースや学習室、静かに読書ができる静寂のエリアなどから構成されます。

市総合計画にある『健康保養都市』というテーマから、医療健康情報コーナーも検討します。



図 1-8 大人がくつろげる一般開架スペース



図 1-9 一般閲覧スペース



図 1-10 学習室



### (3) 伊東市情報センター機能（案）

伊東市情報センターは、木下杢太郎をはじめ伊東祐親、三浦按針、種田山頭火、中村敬宇、川端康成、彫刻家の重岡建治など、伊東市にゆかりのある人物の関連資料や、温泉やジオパークにまつわる資料等、伊東市の特徴的な歴史や文化を知ることができる郷土資料を公開し、貴重書や歴史的造形物の展示のほか、様々な情報を搭載したデジタルアーカイブ及びタブレットPCなどを配置した情報発信スペース、資料展示スペースから構成します。

専門的なレファレンスにも対応し、市民が調べものをしたりするほか、観光客がここに来れば伊東市のすべてを知ることが出来ます。

また、洪水浸水想定5メートルよりも高い位置（2階以上のフロア）に設置することで、水害から貴重資料を守ります。



図 1-11 地域資料・参考資料スペース

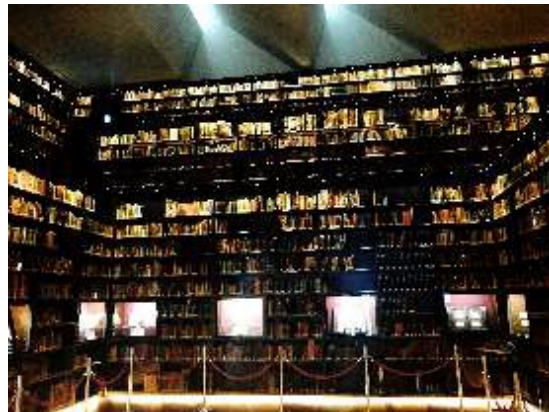


図 1-12 貴重資料を揃える書庫



図 1-13 ICTを活用した観光情報コーナー



図 1-14 情報発信スペース

#### (4) 児童コーナー機能（案）

児童コーナーは、子どもたちが楽しみながら読書に親しめるスペースとします。

書架は遊具と一体になった面白みのある形状のものを取り入れ、子どもたちが自ら本に触れる機会を創出するほか、ICT機器を活用したインタラクティブ知育コーナーでは、楽しみながら伊東市の自然や歴史、昔話に触れたり、その後の読書習慣の獲得に繋がるコンテンツを提供します。また、コンテンツのひとつとしてプログラミングなど、子どもたちが自ら探求でき、子ども自身が考えたものを形にすることができるツールを提供することで、課題解決能力を高め、更なる学習機会の提供を行います。

また、一時託児サービスを行うことで、乳幼児を抱えた方々もゆっくりと本を選んだり、図書館イベントに参加できたりするようになり、保護者にとっても図書館が身近なものとなります。



図 1-15 面白みのある児童開架スペース



図 1-16 託児スペース



図 1-17 読み聞かせやおはなし会の開催



図 1-18 ICT を活用した知育コンテンツ



図 1-19 広場での児童向けイベント



## (5) ティーンズコーナー機能（案）

中高生の心理に鑑み、児童コーナーとは明確にゾーニング分けをし、かつ子どもっぽくないしつらえとします。

参考書等学習を助ける資料の他、ライトノベルやコミック、ティーンズ誌、アニメ・アート・ファッション関係なども含む資料を配架します。また、従来の図書資料だけでなく、ゲームなど幅広いメディアの資料の収集も検討します。

そのほか大学のラーニングコモンズのような、複数人で話しながら調べものや学習ができるグループ学習室や、音楽スタジオ等を備え、図書館から足が遠のきがちな中高生が図書館に来たくなる内容とします。



図 1-20 ティーンエイジ資料スペース



図 1-21 グループ学習スペース



図 1-22 音楽スタジオ



図 1-23 視聴覚スペース



図 1-24 高校生がインタビュー等、誌面づくりに参加するフリーマガジン

図 1-21 引用先 URL: <https://www.musashino.or.jp/place/seisyounen/>

図 1-24 引用先 URL: <https://www.ch-files.net/>



## (6) 生涯学習センター機能（案）

生涯学習センターは、これまでの生涯学習機能に加え、コワーキングスペース、ファブスペースといった多様な目的にあわせた利用、あるいは青少年向けのアニメ制作工房や音楽スタジオなど、市民が創作活動を行う場として機能します。

伊東市ならではの様々な活動や、作品が生まれる知のクリエイティブコーナーとなりうる場です。

また、活発なボランティア活動を支援するため、ボランティア等関係団体用のロッカースペースなども設置します。



図 1-25 デジタル工作機器を備えたファブスペース



図 1-26 アニメ制作工房



図 1-27 落ち着けるコワーキングスペース



図 1-28 トレーニング室



図 1-29 キッチンスペース

## (7) ICT機能（ICタグシステム）（案）

ICタグシステムによる管理を行い、セルフ貸出機、セルフ返却機（返却仕分け機）、セルフ予約受取棚を導入することで、図書館における貸出・返却業務の完全セルフ化が図られ、利用者の利便性の向上と、職員コストの削減が実現します。また、ICゲートにより大幅に防犯対策も向上します。さらに、図書館資料を自由に生涯学習センター部分（あるいは交流機能部分）に持ち込むことができるようになり、施設全体での回遊性の実現できるほか、会議利用、デジタル工作機器や料理等の市民活動時においても、図書館資料の活用が図られ、各諸室と図書が融合した設計も可能となります。

また、利用者の現在地と、検索した資料の所在地をマップ上に表示するシステム（携帯端末で利用できるアプリケーション）を導入することで、図書館内で目的資料を探す手助けとなり、目的の資料がなくても、図書館のシステムと連携することで資料を予約することができます。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、全国的に図書館は一部サービスの制限を行いました。こうした状況下においても、来館・非来館の双方において滞りなく市民へ図書館サービスを提供する必要があります。来館型図書館サービスでは、通常のサービスに追加して、新型コロナウイルス感染症等の対策を講じた館内環境の整備が必要です。セルフ貸出機、セルフ返却機（返却仕分け機）、セルフ予約受取棚の導入による接触機会の抑制やゆとりある座席設定、各種除菌機の設置により、利用者が安心できる環境づくりを実現できます。

非来館型図書館サービスでは、電子図書館の導入、貴重資料や地域資料のデジタルアーカイブ化や、現在提供されているインターネット上でのサービスをさらに拡充することで、来館時と同等のサービスの提供が可能になります。来館・非来館のどちらでサービスを受けるか利用者が選択できるようにします。



図 1-30 カフェ内への資料の持ち込み



図 1-31 ファブスペースでの資料活用



図 1-32 市民活動での資料活用



図 1-33 館内マップと連動した資料検索

図 1-30 引用先 URL: <http://www.cafefermata.net/contents/event.html>

図 1-31 引用先 URL: <https://www.facebook.com/493952637356250/posts/920576714693838/>

図 1-32 引用先 URL: <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/laboratory/>

図 1-33 引用先 URL: <https://lab.calil.jp/sabatomap/>

## 2 伊東市新図書館コンセプト（案）

新図書館は、市内全域から来館してもらえよう、「1-2 拡充サービス案」に記載の各種サービス案を検討しながら、伊東市の知と文化を支える情報集約・発信基地として、それに相応しい資料と規模を持たせるとともに、併設される生涯学習センターとの相乗効果を生む利活用により、市民に愛され、伊東市の情報がすべてわかり、幅広い世代が学ぶことが出来る施設を実現する必要があります。

欧米では、旅行者はそのまちの図書館を訪れば、観光、情報、歴史がすべてわかるとされています。「国際観光温泉文化都市」伊東市の新図書館についても、欧米の図書館のような使われ方を目指す中で、このような利用方法にも対応できる機能も期待されます。

また、市内にお住まいの方も、市外にお住まいの方も、気軽に訪れる事ができ、生涯にわたる学びや活動に参加する事で、学ぶ喜びや豊かさを享受できる、～ひとりひとりの創造拠点～として位置づけるとともに、伊東市の未来を担う子どもたちが、世界に羽ばたき、活躍できるよう、また、今を担う大人たちが、培ってきた経験や知を発展・発揮できるよう、さらには、それらが交わり補完しあいながら、自身の夢と未来を育むための学びの場となる必要があると思われまます。

このような理由から、新図書館は

### 『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～（案）

をコンセプトとし、日本全国あるいは海外から多くの人々が訪れる「国際観光温泉文化都市」伊東の知・文化・歴史を収集記録し、内外に発信し続けることで、シビックプライドの醸成と文化や知の発展に寄与する事はもちろん、伊東市の未来を担うひとりひとりが夢を育み、未来を育む事ができるような創造拠点として、この図書館があるから伊東市に行ってみたい、住んでみたい、住んでいたいと思えるような図書館を目指します。

### 3 蔵書目標の設定（案）

#### 3-1 目標蔵書冊数の設定

同規模自治体の平均蔵書数は約 27 万冊（開架約 13 万冊、閉架約 14 万冊）ですが、「望ましい基準」においては、人口 6 万 5,000 人相当\*の本市は、約 31.6 万冊（人口 6 万人：開架約 20.4 万冊、閉架約 11.2 万冊）から約 38.2 万冊（人口 8 万人：開架約 24.8 万冊、閉架約 13.4 万冊）の間に位置しています。

そこで 38.2 万冊と 31.6 万冊の差分を四分割し、人口 6 万 5,000 人相当に換算した **33.3 万冊程度**を新図書館の蔵書目標とします。

※令和元年度の人口減少数を基に毎年 500 人減と想定した場合の令和 7 年度の推定値

#### 3-2 児童書割合の設定

同規模自治体（7 万人前後）の児童書割合の調査結果から、蔵書冊数における児童書の割合は **25%**とし、蔵書冊数 33.3 万冊に対し、83,250 冊を目標値とします。

表 3-1 同規模自治体の児童書割合

都道府県名	図書館名	蔵書冊数	児童書冊数	児童書割合
静岡県	伊東市立伊東図書館	184,728	45,517	24.6%
愛知県	碧南市民図書館	425,922	91,434	21.5%
埼玉県	吉川市立図書館	423,078	97,322	23.0%
埼玉県	鶴ヶ島市立中央図書館	366,657	80,327	21.9%
福井県	鯖江市図書館	340,499	74,731	21.9%
千葉県	八街市立図書館	315,996	60,496	19.1%
長野県	伊那市立伊那図書館	306,257	100,139	32.7%
愛知県	豊明市立図書館	275,506	102,820	37.3%
福岡県	太宰府市民図書館	221,785	54,300	24.5%
愛知県	知立市図書館	218,920	55,243	25.2%
北海道	恵庭市立図書館	211,041	41,845	19.8%
山梨県	笛吹市石和図書館	152,462	50,491	33.1%
大阪府	柏原市立柏原図書館	132,541	14,899	11.2%
宮城県	栗原市立図書館	125,749	36,621	29.1%
平均		<b>270,493</b>	<b>66,205</b>	<b>24.5%</b>

※データ出所：日本の図書館2018を基に作成

#### 3-3 閉架の割合の設定

移動図書館専用資料や学校支援用資料を保管するためのストックヤード機能も本館としては必要であることから、閉架書庫を設置します。閉架の割合は、同規模自治体の平均から **50%**を目安とします。

ただし、近年、「ひとまち情報創造館武蔵野プレイス」（東京都武蔵野市）のようにすべて開架にしてしまう図書館もあり、所蔵するすべての資料を公開することで市民へ開かれた図書館を実現するスタイルもあるため、すべて開架とするプランも検討します。



## 4 施設整備の目標面積構成（案）

### 4-1 目標面積構成の考え方

施設整備の目標については、これまでの検討内容を基に、下記諸条件から積み上げを行い、作成していく必要があります。

なお、同規模自治体の平均延べ床面積は 2,794 m<sup>2</sup>、「望ましい基準」では 4,097 m<sup>2</sup>となります。それに加え、策定委員会、市民ワークショップ、タウンミーティング、未来ビジョン会議等において意見が出されたこれまでに無かったその他機能を想定すると、**5,000 m<sup>2</sup>以上が必要**と想定されるため、この数値以上を目標とします。

#### 算出にあたっての諸条件

- ・蔵書冊数は 33.3 万冊とする
- ・児童書は全体の 25%とする（同規模自治体の平均から）
- ・閉架は 50%とする（同規模自治体の平均から）。あるいはすべて開架とする案も検討する
- ・書架の高さは広々とした空間設計を目指すため、最大で 5 段までとする
- ・閉架書庫は集密書庫と想定し、1 m<sup>2</sup>当たり 700 冊程度収容できるとする
- ・地域資料を配架する十分なスペースを設ける
- ・郷土資料等を展示できる十分なスペースを設ける
- ・IC タグシステムを導入し、カフェなど館内の回遊性を持たせる  
合わせてセルフ貸出機やセルフ予約受取コーナーなどの設備を導入する
- ・閲覧席はゆったり過ごせるよう、全体で 300 席程度とし、かつ十分な学習室を持たせる
- ・児童室は託児なども考えゆったりとしたつくりとする
- ・生涯学習センターについては、現状の諸室を維持した上で、新たに 120 席程度の簡易な講演などができるホールその他、ファブスペース、音楽スタジオなど新たな機能を設ける
- ・カフェ及びショップ等を併設する

これらを反映し、以下の 3 パターンを検討します。

- A案 最低限のゆとりを持たせたパターン（5,705 m<sup>2</sup>：駐車場、広場除く）
- B案 諸室にゆとりを持たせたパターン（6,169 m<sup>2</sup>：駐車場、広場除く）
- C案 諸室にゆとりを持たせ、かつすべて開架としたパターン  
（7,194 m<sup>2</sup>：駐車場、広場除く）

4-2 パターンごとの検討

(1) A案 最低限のゆとりを持たせたパターン

構成部分		スペース	算定根拠
<b>①一般図書ゾーン</b>			
検索端末台	12	m <sup>2</sup>	8台
自動貸出機	14	m <sup>2</sup>	9台
自動返却機	5	m <sup>2</sup>	3台
一般開架スペース	422	m <sup>2</sup>	5段書架を配置 (35冊/段) 81,783冊
一般閲覧スペース	200	m <sup>2</sup>	閲覧机 (通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 100席
一般開架余裕度	62	m <sup>2</sup>	
ティーンエイジ資料スペース	52	m <sup>2</sup>	5段書架を配置 (35冊/段) 10,000冊
ティーンエイジ閲覧スペース	60	m <sup>2</sup>	閲覧机 (通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 30席
ティーンエイジスペース余裕度	11	m <sup>2</sup>	
グループ学習室	75	m <sup>2</sup>	25席
地域資料・参考資料スペース	219	m <sup>2</sup>	3段書架を配置 (20冊/段) 13,112冊
地域資料・参考資料スペース	80	m <sup>2</sup>	閲覧机 (通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 40席
地域資料・参考資料スペース余裕度	30	m <sup>2</sup>	
視聴覚資料スペース	18	m <sup>2</sup>	4段書架を配置 (50本/段) 3,500点
視聴覚スペース	40	m <sup>2</sup>	一般的なPCブースを使用 10席
視聴覚スペース余裕度	6	m <sup>2</sup>	
雑誌コーナー	11	m <sup>2</sup>	雑誌 (バックナンバー含む) 160誌
新聞コーナー	3	m <sup>2</sup>	新聞 (バックナンバー含む) 20紙
ブラウジングスペース	60	m <sup>2</sup>	30人
ブラウジングスペース余裕度	7	m <sup>2</sup>	
展示コーナー	50	m <sup>2</sup>	
展示コーナー(郷土資料)	50	m <sup>2</sup>	
予約本コーナー	20	m <sup>2</sup>	2500冊程度
対面朗読室	15	m <sup>2</sup>	
学習室	160	m <sup>2</sup>	80席
サービスカウンター	18	m <sup>2</sup>	6人
一般図書ゾーン計	1,700	m <sup>2</sup>	104,895
<b>②こども図書ゾーン</b>			
検索端末台	3	m <sup>2</sup>	1台
自動貸出機	3	m <sup>2</sup>	1台
自動返却機	3	m <sup>2</sup>	1台
児童開架スペース	432	m <sup>2</sup>	3段書架を配置 (45冊/段) 58,275冊
児童閲覧スペース	100	m <sup>2</sup>	円形テーブル・傾斜読書台を通路幅1200mmで配置 50席
視聴覚資料スペース	8	m <sup>2</sup>	4段書架を配置 (50本/段) 1,500点
視聴覚スペース	40	m <sup>2</sup>	一般的なPCブースを使用 10席
視聴覚スペース余裕度	5	m <sup>2</sup>	
おはなし室	80	m <sup>2</sup>	絨毯敷きで座って話を聞くことを想定 40人
託児スペース	50	m <sup>2</sup>	託児一人あたり3.3m <sup>2</sup> を想定 15人
児童スペース余裕度	66	m <sup>2</sup>	
サービスカウンター	9	m <sup>2</sup>	3人
こども図書ゾーン計	799	m <sup>2</sup>	58,275
<b>開架エリア合計 (①+②)</b>		<b>2,498</b>	<b>m<sup>2</sup></b>
<b>③バックスペース等</b>			
事務室	200	m <sup>2</sup>	20人
会議室等	100	m <sup>2</sup>	会議室、休憩室、ロッカー等
閉架書庫スペース	243	m <sup>2</sup>	通路幅900mmで6段の移動式書架を配置 169,830冊
作業スペース	49	m <sup>2</sup>	書庫の20%
バックスペース余裕度	59	m <sup>2</sup>	
全体の余裕度	630	m <sup>2</sup>	廊下、階段、EV、トイレ等
バックスペース等計	1,281	m <sup>2</sup>	169,830
<b>図書館エリア合計 (①+②+③)</b>		<b>3,779</b>	<b>m<sup>2</sup></b>
<b>④その他 (生涯学習センター機能等)</b>			
ホール (元視聴覚室)	360	m <sup>2</sup>	120席
ホール控室	25	m <sup>2</sup>	
第1多目的室 (元第1会議室)	200	m <sup>2</sup>	100席
第2多目的室 (元第2会議室)	60	m <sup>2</sup>	30席
第3多目的室 (元第1研修室)	60	m <sup>2</sup>	30席
第4多目的室 (元第2研修室)	40	m <sup>2</sup>	20席
第1和室	40	m <sup>2</sup>	20席
第2和室	40	m <sup>2</sup>	20席
美術工芸室	60	m <sup>2</sup>	30席
展示兼トレーニング室	120	m <sup>2</sup>	40人
ファブスペース	50	m <sup>2</sup>	
キッチンスペース	50	m <sup>2</sup>	
コワーキングスペース	50	m <sup>2</sup>	25席
音楽スタジオ	100	m <sup>2</sup>	
カフェ・ショップ	350	m <sup>2</sup>	
その他余裕度	321	m <sup>2</sup>	
その他ゾーン計	1,926	m <sup>2</sup>	
<b>総合計面積</b>		<b>5,705</b>	<b>m<sup>2</sup></b>

※各スペースの面積は小数点以下を四捨五入しているため、合計面積と一致しない場合があります



## (2) B案 諸室にゆとりを持たせたパターン

構成部分		スペース	算定根拠
<b>①一般図書ゾーン</b>			
検索端末台	12	m <sup>2</sup>	8台
自動貸出機	14	m <sup>2</sup>	9台
自動返却機	5	m <sup>2</sup>	3台
一般開架スペース	475	m <sup>2</sup>	4段書架を配置 (35冊/段) 81,783冊
一般閲覧スペース	200	m <sup>2</sup>	閲覧机 (通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 100席
一般開架余裕度	68	m <sup>2</sup>	
ティーンエイジ資料スペース	58	m <sup>2</sup>	書架間隔1,800mm4段を配置 (35冊/段) 10,000冊
ティーンエイジ閲覧スペース	60	m <sup>2</sup>	閲覧机 (通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 30席
ティーンエイジスペース余裕度	12	m <sup>2</sup>	
グループ学習室	75	m <sup>2</sup>	25席
地域資料・参考資料スペース	219	m <sup>2</sup>	3段書架を配置 (20冊/段) 13,112冊
地域資料・参考資料スペース	80	m <sup>2</sup>	閲覧机 (通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 40席
地域資料・参考資料スペース余裕度	30	m <sup>2</sup>	
視聴覚資料スペース	18	m <sup>2</sup>	4段書架を配置 (50本/段) 3,500点
視聴覚スペース	40	m <sup>2</sup>	一般的なPCブースを使用 10席
視聴覚スペース余裕度	6	m <sup>2</sup>	
雑誌コーナー	11	m <sup>2</sup>	雑誌 (バックナンバー含む) 160誌
新聞コーナー	3	m <sup>2</sup>	新聞 (バックナンバー含む) 20紙
ブラウジングスペース	60	m <sup>2</sup>	30人
ブラウジングスペース余裕度	7	m <sup>2</sup>	
展示コーナー	50	m <sup>2</sup>	
展示コーナー(郷土資料)	50	m <sup>2</sup>	
予約本コーナー	20	m <sup>2</sup>	2500冊程度
対面朗読室	15	m <sup>2</sup>	
学習室	160	m <sup>2</sup>	80席
サービスカウンター	18	m <sup>2</sup>	6人
一般図書ゾーン計	1,764	m <sup>2</sup>	104,895
<b>②こども図書ゾーン</b>			
検索端末台	3	m <sup>2</sup>	1台
自動貸出機	3	m <sup>2</sup>	1台
自動返却機	3	m <sup>2</sup>	1台
児童開架スペース	452	m <sup>2</sup>	3段書架を配置 (45冊/段) 58,275冊
児童閲覧スペース	100	m <sup>2</sup>	円形テーブル・傾斜読書台を通路幅1200mmで配置 50席
視聴覚資料スペース	8	m <sup>2</sup>	4段書架を配置 (50本/段) 1,500点
視聴覚スペース	40	m <sup>2</sup>	一般的なPCブースを使用 10席
視聴覚スペース余裕度	5	m <sup>2</sup>	
おはなし室	80	m <sup>2</sup>	絨毯敷きで座って話を聞くことを想定 40人
託児スペース	50	m <sup>2</sup>	託児一人あたり3.3m <sup>2</sup> を想定 15人
児童スペース余裕度	68	m <sup>2</sup>	
サービスカウンター	9	m <sup>2</sup>	3人
こども図書ゾーン計	821	m <sup>2</sup>	58,275
<b>開架エリア合計 (①+②)</b>		<b>2,585</b>	<b>m<sup>2</sup></b>
<b>③バックスペース等</b>			
事務室	200	m <sup>2</sup>	20人
会議室等	100	m <sup>2</sup>	会議室、休憩室、ロッカー等
閉架書庫スペース	243	m <sup>2</sup>	通路隔900mmで6段の移動式書架を配置 169,830冊
作業スペース	49	m <sup>2</sup>	書庫の20%
バックスペース余裕度	59	m <sup>2</sup>	
全体の余裕度	647	m <sup>2</sup>	廊下、階段、EV、トイレ等
バックスペース等計	1,298	m <sup>2</sup>	169,830
<b>図書館エリア合計 (①+②+③)</b>		<b>3,883</b>	<b>m<sup>2</sup></b>
<b>④その他 (生涯学習センター機能等)</b>			
ホール (元視聴覚室)	600	m <sup>2</sup>	200席
ホール控室	25	m <sup>2</sup>	
第1多目的室 (元第1会議室)	200	m <sup>2</sup>	100席
第2多目的室 (元第2会議室)	60	m <sup>2</sup>	30席
第3多目的室 (元第1研修室)	60	m <sup>2</sup>	30席
第4多目的室 (元第2研修室)	60	m <sup>2</sup>	30席
第1和室	60	m <sup>2</sup>	30席
第2和室	60	m <sup>2</sup>	30席
美術工芸室	60	m <sup>2</sup>	30席
展示兼トレーニング室	120	m <sup>2</sup>	40人
ファブスペース	50	m <sup>2</sup>	
キッチンスペース	50	m <sup>2</sup>	
コワーキングスペース	50	m <sup>2</sup>	25席
音楽スタジオ	100	m <sup>2</sup>	
カフェ・ショップ	350	m <sup>2</sup>	
その他余裕度	381	m <sup>2</sup>	
その他ゾーン計	2,286	m <sup>2</sup>	
<b>総合計面積</b>		<b>6,169</b>	<b>m<sup>2</sup></b>

※各スペースの面積は小数点以下を四捨五入しているため、合計面積と一致しない事があります

(3) C案 諸室にゆとりを持たせ、かつすべて開架としたパターン

構成部分	スペース	算定根拠
<b>①一般図書ゾーン</b>		
検索端末台	12㎡	8台
自動貸出機	14㎡	9台
自動返却機	5㎡	3台
一般開架スペース	1,318㎡	4段書架を配置(35冊/段) 226,638冊
一般閲覧スペース	280㎡	閲覧机(通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 140席
一般開架余裕度	160㎡	
ティーンエイジ資料スペース	58㎡	書架間隔1,800mm4段を配置(35冊/段) 10,000冊
ティーンエイジ閲覧スペース	60㎡	閲覧机(通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 30席
ティーンエイジスペース余裕度	12㎡	
グループ学習室	75㎡	25席
地域資料・参考資料スペース	219㎡	3段書架を配置(20冊/段) 13,112冊
地域資料・参考資料スペース	80㎡	閲覧机(通路幅1200mmで配置)、スツールを配置 40席
地域資料・参考資料スペース余裕度	30㎡	
視聴覚資料スペース	18㎡	4段書架を配置(50本/段) 3,500点
視聴覚スペース	40㎡	一般的なPCブースを使用 10席
視聴覚スペース余裕度	6㎡	
雑誌コーナー	11㎡	雑誌(バックナンバー含む) 160誌
新聞コーナー	3㎡	新聞(バックナンバー含む) 20紙
ブラウジングスペース	60㎡	30人
ブラウジングスペース余裕度	7㎡	
展示コーナー	50㎡	
展示コーナー(郷土資料)	50㎡	
予約本コーナー	20㎡	2500冊程度
対面朗読室	15㎡	
学習室	160㎡	80席
サービスカウンター	18㎡	6人
一般図書ゾーン計	2,780㎡	249,750
<b>②子ども図書ゾーン</b>		
検索端末台	3㎡	1台
自動貸出機	3㎡	1台
自動返却機	3㎡	1台
児童開架スペース	452㎡	3段書架を配置(45冊/段) 58,275冊
児童開架スペース	145㎡	4段書架を配置(45冊/段) 24,975冊
児童閲覧スペース	100㎡	円形テーブル・傾斜読書台を通路幅1200mmで配置 50席
視聴覚資料スペース	8㎡	4段書架を配置(50本/段) 1,500点
視聴覚スペース	40㎡	一般的なPCブースを使用 10席
視聴覚スペース余裕度	5㎡	
おはなし室	80㎡	絨毯敷きで座って話を聞くことを想定 40人
託児スペース	50㎡	託児一人あたり3.3㎡を想定 15人
児童スペース余裕度	83㎡	
サービスカウンター	9㎡	3人
子ども図書ゾーン計	980㎡	83,250
<b>開架エリア合計(①+②)</b>	<b>3,760㎡</b>	
<b>③バックスペース等</b>		
事務室	200㎡	20人
会議室等	100㎡	会議室、休憩室、ロッカー等
閉架書庫スペース	0㎡	0冊
作業スペース	0㎡	書庫の20%
バックスペース余裕度	30㎡	
全体の余裕度	818㎡	廊下、階段、EV、トイレ等
バックスペース等計	1,148㎡	0
<b>図書館エリア合計(①+②+③)</b>	<b>4,908㎡</b>	<b>333,000</b>
<b>④その他(生涯学習センター機能等)</b>		
ホール(元視聴覚室)	600㎡	200席
ホール控室	25㎡	
第1多目的室(元第1会議室)	200㎡	100席
第2多目的室(元第2会議室)	60㎡	30席
第3多目的室(元第1研修室)	60㎡	30席
第4多目的室(元第2研修室)	60㎡	30席
第1和室	60㎡	30席
第2和室	60㎡	30席
美術工芸室	60㎡	30席
展示兼トレーニング室	120㎡	40人
ファブスペース	50㎡	
キッチンスペース	50㎡	
コワーキングスペース	50㎡	25席
音楽スタジオ	100㎡	
カフェ・ショップ	350㎡	
その他余裕度	381㎡	
その他ゾーン計	2,286㎡	
<b>総合計面積</b>	<b>7,194㎡</b>	

※各スペースの面積は小数点以下を四捨五入しているため、合計面積と一致しない事があります